

II. メイクアップコスメの使用状況/メイク事情

	メイクの契機	自分なりのメイクのポイント/眉メイク	関心のあるメイク商品と背景
高校生	<ul style="list-style-type: none"> ●インター層は中2ぐらいよりメイクを始める 母親や姉などの影響による(6名) さらにその友人へと広がる(2名) 高校に入り、友人影響で始める。場合により母親も関わる(5名) ●中学時代よりはじめていても、毎日やメイクをするのは高校に入ってからというケースが多い <p>※“外出時にはメイク”が一般化しており、むしろメイクを全くしない高校生の方が少数派となっている(Tel.スクリーニング結果より)</p> <p>□学校へ毎日(8名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンデーション、アイメイク、マキアで控え目に ・公認の学校もあり(部立広尾)、フルメイク ・休み時間にトイレでメイクする ・体育やプールの後は、眉メイクは欠かせない。ファンデーションを汗止め感覚で使用していたりする <p>□放課後(6名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口紅とアイシャドウ、マキア。帰りのHRの間にメイクする。合コンや予定がある時には“カ”が入る <p>□休日(全員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い思いのメイクを楽しむ。フルメイク(10名) ・昼、夜で色を使い分けたりファッションに合わせる。メイクしていることがハッキリわかる色味を使用する <p>※顔色や目元など、自分の欠点をうまくカバーするためのメイクに工夫が見られる 全般的に眉メイクには関心が高く、学校でも体育の後などにリメイクしている様子が伺える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●経験の差こそあれ、自分の欠点をカバーしたり、自分ならではのメイクをするための工夫をしている 欠点のカバー例→アイメイク 化粧水をつけたスポンジでファンデをぬる 顔のつくりや髪の色を考慮した色選び まつ毛を長くみせる商品を使用 目を大きく見せるアイメイク 自分ならではの季節によるファンデの使い分けで美肌メイク 口紅2色使いやアイシャドウの使用 CDや洋書を参考に人と違うメイクを先駆けてやりたい ●眉メイクが苦手(4名)、それ以外にもマスカラが上手く使いこなせなかったりしている 自分本来の眉の状態と骨格などを考えながら自然な眉メイクを心掛けている(5名) 一方、メイク雑誌には眉の形を変えたイメージチェンジにも関心を示している(2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎口紅(7名) 口紅の色のパレションはどんどん増やしたい 季節にあったカラーやイメージチェンジ、自分に合う色の研究 ◎ファンデーション(6名) 肌をきれいに見せたいというニーズに応えるアイテム ex)肌質に合うもの、肌の色の演出(黒い肌にもみせる/白い肌にもみせる)カバーをする ◎ネイル(5名) いろいろな色に対するチャレンジ希望。季節に合ったカラーや脱日常色など ◎アイメイク マスカラ→ビューラー不要のグッドカー、白などの脱日常色 アイシャドウ→白っぽい茶、パステルカラーなどの脱日常色 アイシャドウ アイシャドウ アイシャドウへの関心は一部にあるが、経験者からはつけ方が難しく面倒との声あり。つけ毛(白系)にも関心あり ※インター層はすでに使用
大学生・社会人	<ul style="list-style-type: none"> ●中1ぐらいよりメイクを始めるインター層(1名)もいるが、高1~2年が主流である(6名) 受験が終わった後、大学入学や就職が契機になるケースもまだ多い(6名) <p>※高校入学派と卒業派に分かれており、現高校生の実状と比較すると、ここ2~3年、ファッションの一部ととらえたメイクの低年齢化がかなりの速度で進んでいるといえる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全員がアイメイクがメイクのポイントだと考えている 特に眉のつくり方がポイントだと考えている(6名) またメイクは難しいという認識が強く、それぞれがアイメイク法だけでなく、使用商品や使用方法に工夫をしている 眉→自分の眉の欠点が気になる。カットなど、形づくりに努力(3)。時には店で眉カットをしてもらう 眉の書き方が苦手(4)、日によって出来ばえが異なる(2)などの悩みはあるが、テイクアウトにはあまり関心がない 書き方の工夫としては、薄く書き強調しないことがポイント(2)とナチュラルメイクの方向でコツを修得している まつ毛→ビューラーとマスカラ使いがうまくいかず、上がりすぎたり、角がついたりしている アイシャドウ→アイシャドウ使いも難しい(3)、特にリキッドタイプ。柔らかめのペンシルタイプで工夫 アイシャドウ→色使いなど、うまく使いこなせないという意識あり(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎口紅(7名) 季節に合った色や試したことのない色でイメージを変える メイクの初心者(1名)は自分の似合う色にネイルカラーともども関心あり リップライナーやグロスなどのアイテムもチェックしている ◎ネイル(5名) ひと通り所有している感があるが、ネイルトや重ね使いにも関心があり、個性を表現できるアイテムとして注目している ◎フェイスカバー(4名) 季節に合ったグロス、日焼けカラーやハイライトに関心あり(3) ◎アイメイク アイシャドウ→新しいカラーとメイク法、季節に合った色や印象を変えるため マスカラ→透明、又はカールなもの。夏には冒険心もわく つけ毛に対する関心は今ひとつ。アイシャドウも普段使いではなく「特別な状況」と捉えている反面「部分使いなら」(3)との声もある。インター層は、現行も時折遊び感覚で使用している ●全般的に商品はいきわたっている感があるため、季節性や印象を変えるといった目的で、新しい色物に対する関心が強い。ただしメイク法と連動していることが望まれる